

## E-17 住まいのメンテナンスに関する研究

花王生活科学研

○久保恵子 鶴岡英樹

### －住居用洗剤の洗浄力評価法の検討－

目的 住居用一般洗剤の洗浄力評価法を、ヨゴレ、材質、洗剤、洗浄方法の各面から検討し、できるだけ実用系に近い試験法による評価法を確立する。

方法 ヨゴレ：油（液体、固体）、皮脂ヨゴレ、ドロ、スス、サビ等。

材質：木、ガラス、金属、合成樹脂（ビニタイル）、繊維。

洗剤：(1)界面活性剤タイプ (2)界面活性剤＋ビルダータイプ (3)界面活性剤＋有機溶剤タイプ (4)界面活性剤＋有機アルカリタイプ (5)無機アルカリタイプ

テスト方法：上記の材質上に、ヨゴレを一定量塗布し、各種洗剤を用い、ウォッシュャブルテスターにて摩擦洗浄する。

結果 評価法(1)鉄板、ガラス板上にドロ油複合ヨゴレを塗布し、これに経時変化、熱変化を加えたものをモデル汚垢として、ウォッシュャブルテスターを用いて、洗剤を含ませたスポンジでヨゴレが完全に脱落するまで摩擦し、そのストローク数で洗浄力を求める。(2)鉄板上になたね油－カーボンブラック混合ヨゴレを塗布し、これに熱変化を加えたものをモデル汚垢として、ここへ一定量の洗剤を滴下し、一定時間放置後洗浄し、10段階で評価する。以上の方法は、簡便であり、再現性、各種洗剤との対応性もよく、洗浄力試験方法として適している。